



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆平成最後にこんなバタバタが・・・◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの大森です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、新しい時代「令和」を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか？

この令和元年5月号の原稿は、平成が終わろうとしている4月の下旬、大型連休前に書いております。せっかくの10連休ですが、このところずっとバタバタとしておりまして、予定という予定がほとんど組めておりません。

と言いますのも、実はちょっと寂しい話になってしまいましたが、母親が2人、立て続けに旅立ってしまったのです。2月に女房の母親が亡くなり、4月に私の母親が亡くなってしまいました。女房の母親の納骨の日が、私の母親の亡くなった日でもあり、本当にバタバタでした。

女房の母親は25年前に脳出血をして、そこからずっと半身不随でした。ただ、頭は健康でハッキリしていて、何も問題なかったのですが、2月に入って下痢をしたらしく、「ちょっと帰ってきてくれる？」と連絡が入り、女房が横浜から岡山に向い、到着したときにはもう冷たくなっていました。ただ、本人は寝ているつもりでそのまま亡くなり、苦しむこともなかったようなので、それは良かったかなと思っています。

また、私の母親は10年前から認知症になっていたのですが、父親から連絡が入りまして、ちょっと呼吸が荒くて心配だから来てくれるかと言われ、私は横浜から、また、姉は茨城から遅れて岡山に入り、そして、全員が揃うのを待つようにして亡くなりました。私の母も苦しむようなことがなかったので、良かったかなと思っています。



そんなバタバタの状態、寂しいという気持ちに浸る時間もないまま、今度は残された父親2人をこれからどうしようという状況です。女房の父親はパーキンソン病を患い、このところずっと寝たきり。女房の母親が亡くなって、急いで特養を探して（2枚目へ→）

(続き→) やっと見つかったと思ったら、自分の母親が亡くなり・・・と。本当に皆で話し合っただけじゃないかというくらいバタバタの3カ月でした。

ちなみに、葬儀の喪主は両方の父親だったのですが、高齢ということもあって、両方とも喪主代理で私が務めました。

通常、夫が先に亡くなって、妻が残るというパターンが好ましいと言われていますが、我が家の場合は、両家とも逆転。男が残るということになったわけですが、2人の残された父親を見て、私は本当に思いました。「男って、情けねえなあ・・・」と。

2人とも本当に元気がなくなってしまって、ずっと引きずっているのです。それはまるで、愛するサッチーに先立たれてしまった野村監督状態。もう本当にあの感じなんです。だから、娘や妻が近くにいてやらないと、本当に立ち直れないだろなあと思います。私なんかちょっと強く言っただけでもうへにやへにやになってしまい、男は逆に近くにいない方がいいのかなあと思ったりもしています。

そんな2人の父親を見て、また葬儀を通じて思いました。私は順番通り、妻を残して先に逝きたいと。絶対にその方がいいと、心から思いました。そして、そのことを妻に言うと、それならジムに行って身体鍛えろとか、やめた方がいいわよと返答が・・・。とにもかくにも、平成最後にこんなバタバタが待っているとは思っていませんでした。

◆発行者コラム◆

10連休の後半は岡山に戻って同窓会に参加するなど予定がありましたが、前半の4日間は完全に予定無し。いまさら旅行の手配もできず、ドライブに行くにも渋滞が目に見えています。買い物と言っても4日間も買う物はありません。結局、ジムに行って、近所をウォーキングして終わりかなと。平成は31年ありましたが、31年もやってきて、最後がこれかと・・・。改めて、切なくなりました(涙)。大森

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

発行責任者:神奈中情報システム

株式会社
神奈中情報システム



大森



米山